

# KVK デッキ形シングルレバー式シャワー KF6004(Z) 〈各仕様共通〉 施工説明書

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

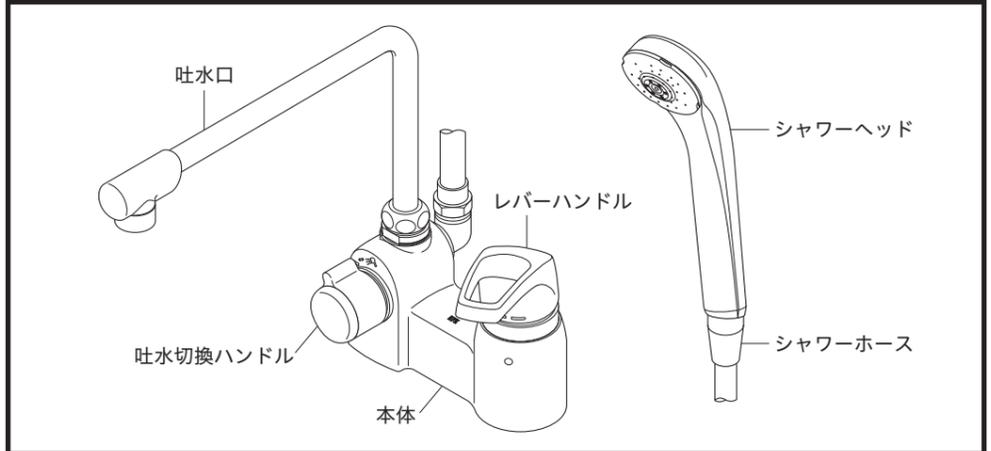
<p><b>湯水を逆に配管しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使わないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工および接合等の改造はしないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b></p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</b></p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>	

<p><b>注意</b></p> <p>禁止</p> <p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>禁止</p> <p>めっき部分は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	--	---	---

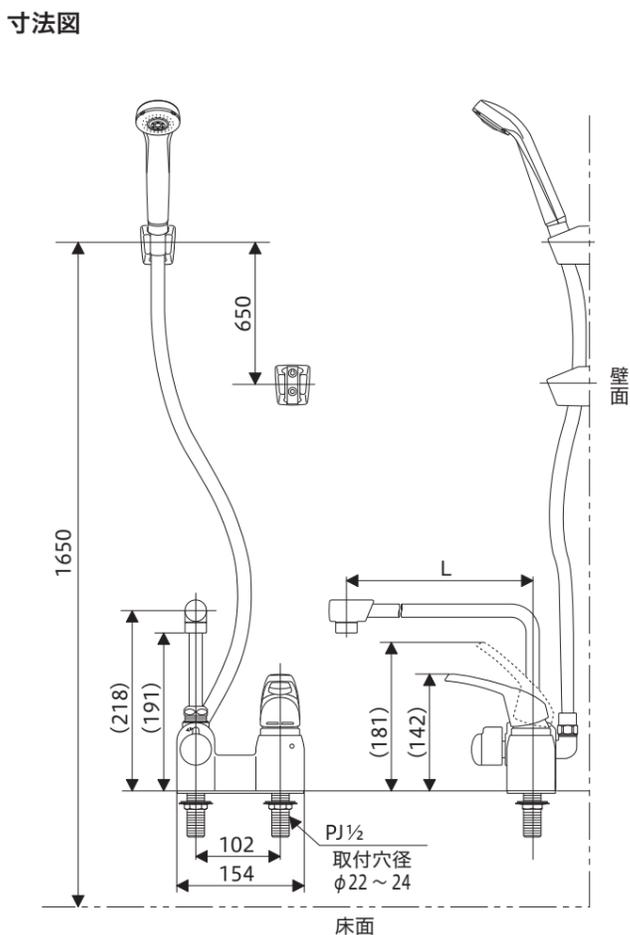
## 取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失) )
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃~60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 取り付け完成図と各部の名称



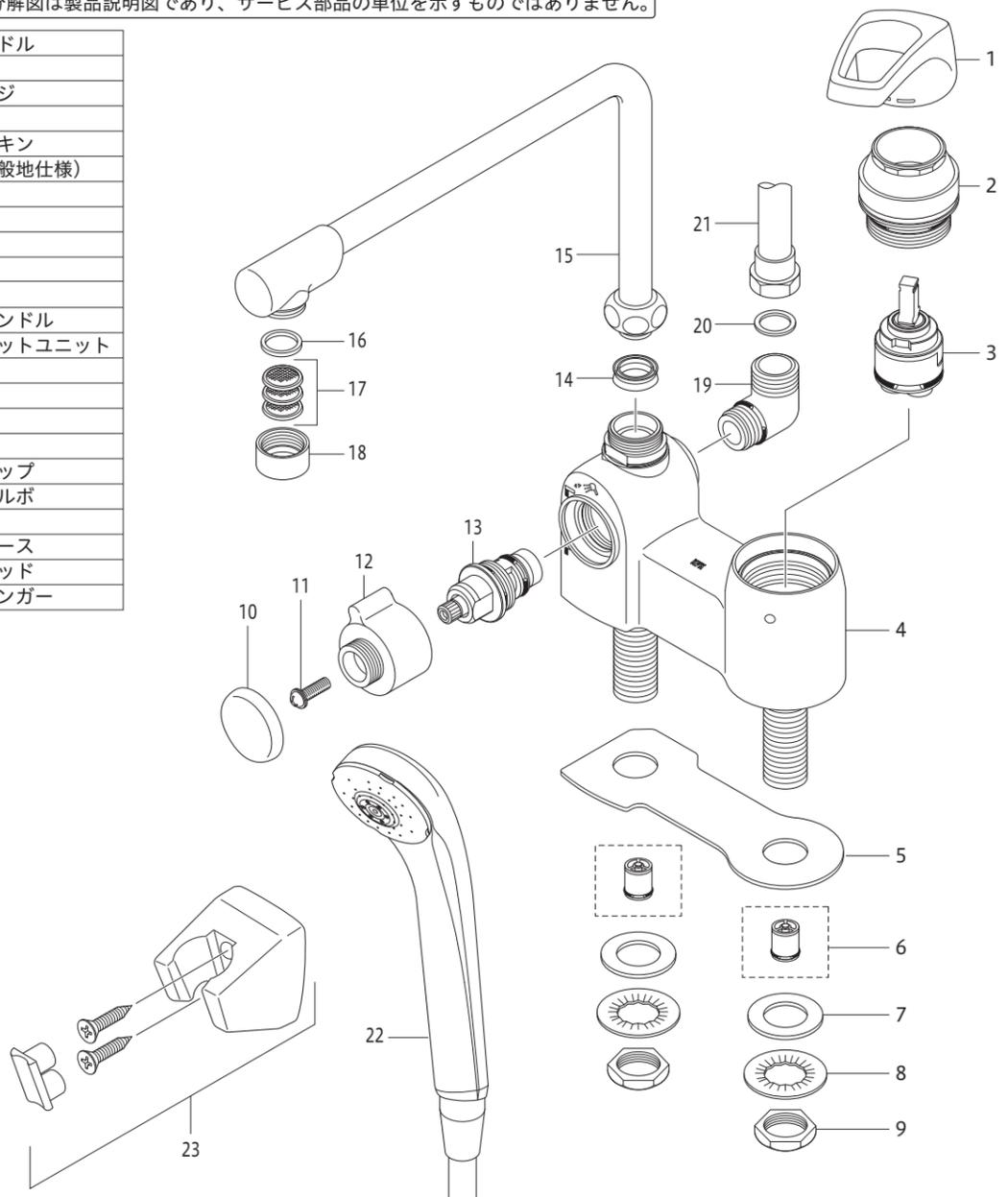
## 寸法図 / 分解図 部品の形状は仕様によって異なる場合があります。



品番	L
KF6004(Z)	190
KF6004(Z) R24	240
KF6004(Z) R30	300

**分解図** この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

- |    |             |
|----|-------------|
| 1  | レバーハンドル     |
| 2  | 固定ナット       |
| 3  | カートリッジ      |
| 4  | 本体          |
| 5  | シートパッキン     |
| 6  | 逆止弁 (一般地仕様) |
| 7  | パッキン        |
| 8  | 菊座          |
| 9  | 締付ナット       |
| 10 | キャップ        |
| 11 | ねじ          |
| 12 | 吐水切換ハンドル    |
| 13 | 切換ボンネットユニット |
| 14 | Xパッキン       |
| 15 | 吐水口         |
| 16 | パッキン        |
| 17 | ストレーナ       |
| 18 | 整流器キャップ     |
| 19 | シャワーエルボ     |
| 20 | パッキン        |
| 21 | シャワーホース     |
| 22 | シャワーヘッド     |
| 23 | シャワーハンガー    |



# 取り付け手順

**1 給水管内の清掃**  
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

**2 止水栓(別売)の取り付け**  
給湯管と給水管の間隔は60~120mm程度で取り付けます。  
寒冷地仕様は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

水抜き栓付止水栓

(60~120mm) 止水栓(別売)

**3 本体の取り付け**  
下図の順に本体を固定します。

**【△注意】**

- レバーハンドルを持って締め付けますと破損のおそれがありますので、これらは持たないでください。
- 締付ナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

専用工具G4(別売)

本体  
シートパッキン  
取り付け穴 φ22~24  
パッキン  
菊座  
締付ナット

取付穴ピッチ 102mm

壁面  
140以上

**【お願い】**  
保守点検のため本体取り付け穴から壁面まで140mm以上あげてください。

5 ページ

**4 シャワーホースと吐水口の接続**

- シャワーホースをシャワーエルボに接続します。
- 吐水口を吐水口接続部に接続します。  
締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。  
【お願い】 締め付けの際はキズが付かないよう、当て布等をしてください。

6 ページ

# 取り付け後の点検と清掃

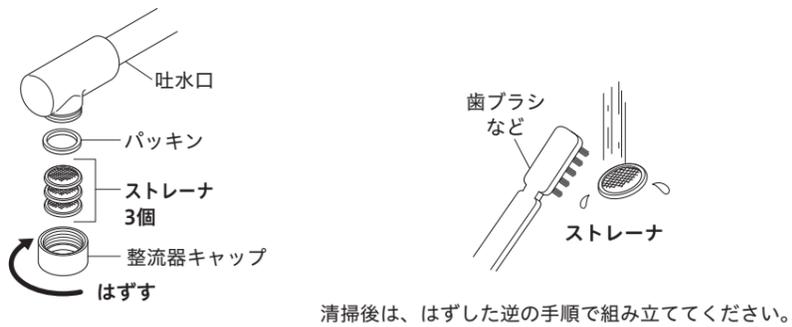
**通水確認**

**【△注意】** 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返して、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。  
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**ストレーナ清掃のお願い**

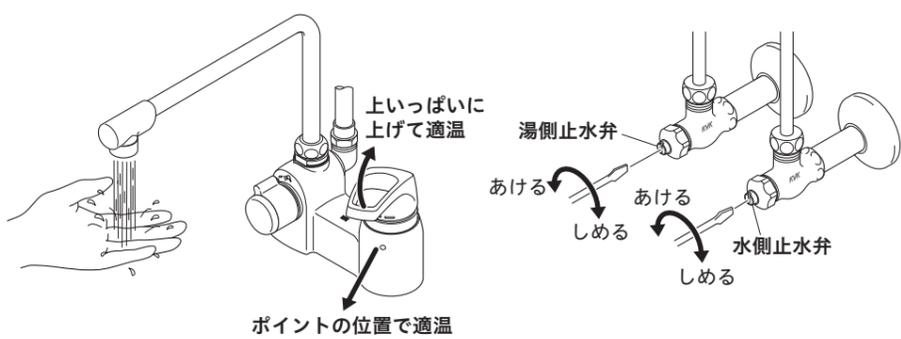
吐水口のストレーナにゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねってストレーナを取りはずします。
- ストレーナをブラシで水洗いします。



**湯温・流量調節**

レバーハンドルがポイントの位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



7 ページ

# 故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書4ページ「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です故障ではありません		—
吐水量が少ない(シャワーが弱い)	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナ清掃のお願い」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7ページ「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナ清掃のお願い」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	7ページ「ストレーナ清掃のお願い」

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

**【△注意】** 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ